

“シャキッ”と新聞

今月の“シャキッ”とする週間
7/14(月)～7/18(金)

第86号

2014.7.11
西中PTA 発行
責任者 高橋 敦志

早いもので、1学期もあと残りわずかとなりました。もうすぐ夏休み！

夏休みといえば皆さまおなじみの、稲野小学校地区社会福祉協議会主催『納涼ふれあい夏祭り』が

催されます。西中学校PTAにとっても大きな行事のひとつです。今年度も子どもたちの笑顔の為、PTAでは着々と準備を進めております。詳細につきましては後日配布します〈納涼ふれあい夏祭りのご案内〉をご覧ください、ご家族・ご近所お誘いあわせのうえご参加ください。

◆ 平成26年度 新通学区域第2学区公立高等学校説明会 ◆

7/4(金) いたみホール

今年度は、県立伊丹・県立伊丹西・県立伊丹北・市立伊丹・県立川西緑台・県立阪神昆陽・県立尼崎稲園・県立川西明峰・県立武庫之荘総合・県立尼崎北・市立尼崎双星・市立尼崎、以上12高校による保護者対象の説明会が開かれました。学区拡大ということで今年から、宝塚市、川西市、西宮市、三田市、尼崎市といった他市からの保護者も参加可能となりました。しかし他市からの募集に対しては、定員200名までと決められており、それに対し2倍の400名の応募があり抽選となりました。この事からいっても、他市の保護者の伊丹学区の高校に対する関心の高さが伺えます。

◆ 伊丹市内5高校校長先生との交流会 ◆

7/8(火) 兵庫県立伊丹高等学校・緑創館

- 各高校の特色・取り組み等の説明
- その他フリートーキング形式で意見交換

学区拡大については、色んな高校を見てその中で「ここだ！」という心の声を聞いて、志望校を選んで欲しいと言われました。「他市からの受験生が増えるのでは？」という多くの保護者の不安が高まる中、「定員を増やす予定は？」という意見に対しては、まだ確定ではありませんが、定員はほぼ例年通りだろうということです。

また、スマートフォンについては、「学校の中では電源を切る。」という学校もありましたが、どこの高校も生徒の所持に関しては認めていました。これだけ世の中でスマートフォンが普及している中、ただ使用を禁止するのではなく、子どもたちがどの様にスマートフォンを使用しているのか、また危険性などを、教師や保護者といった周りの大人が勉強しなくてはいけない状況になってきたというお話をされました。

色々と考えさせられる会となりました。

次回の“シャキッ”とする週間は9/16(火)～9/19(金)です。

夏休みを終えて2学期最初のあいさつ運動です。8:10頃から正門付近で行っています。

ぜひ皆さまご参加ください！

生徒会のみなさん、PTAです。よろしくおねがいします！



先日、PTA室に生徒会の皆さんをお招きして、執行部との交流会を開きました。

PTA室と生徒会室はお隣同士でありながら、実はお互いどんな活動をしているのか、どんな人が関わっているのか知らない状況でした。1時間という短い時間でしたが自己紹介に始まり、日々どういった活動をしているのか、話し合いました。西中の為に頑張っている者同士、これからもこういった交流の場を設けつつ、協力しあっていきたいですね。



～輝く汗～ 平成26年・夏

会長のひとりごと

沖縄の梅雨が明け、伊丹の梅雨明け宣言が待たれる季節となりました。夏本番までもう少しです。そんな7月1週目の土日に、主だった部活動の総体市内大会が行われました。今年も、スポーツセンターを始め、市内の各会場では、熱く感動のシーンが多く繰り広げられ、3年生にとって最後の夏が始まりました。

土曜日、西中学校のテニスコートでは女子ソフトテニスの団体戦が行われていました。西中の団体戦メンバーのプレーを見ていると、以前から部活動で見ていたプレーとは違い、強くなったなあ～と感動しました。それにもまして、コート後方で応援している3年生のみんなに感動しました。同じく、2年生、1年生も同様に応援していました。同じ部活をするメンバーがひとつになった瞬間を見て感動を覚えました。

日曜日、スポーツセンターでは各種の競技が行われていました。西中野球部、準決勝の試合です。緊迫した試合経過でしたが、結果2対0で決勝進出。よく頑張りました。そんな中一番嬉しかったことは、応援席での保護者の数です。相手チームより3倍、いや4倍の保護者の方々が西中を応援していました。西中の子どもたちを応援する西中魂を垣間見た瞬間でした。

体育館では、男子バスケットボール部の準決勝の試合を応援しました。相手チームに得点を先行され西中チームは追っかける展開です。10点近く放された時はここまでか…と思いましたがところがどっこい。終盤を迎えるごとに西中がどんどん追い上げてきます。試合時間残す所1分と20秒ほど。応援席から西中を応援する声がヒートアップするとともに西中が逆転。残り10数秒、西中が2点を追加し3点差。そして終了のホイッスル！そこには子どもたちの、そして保護者の涙と歓喜の喜びがありました。感動させられた1日となりました。

保護者の皆さまの熱心で積極的な応援に感動するとともにありがとうございました。3年生はこの夏で部活動を退くこととなりますが、今回の大会でいい成績を挙げた部活動は今後の大会に向けて更なる調整をしてもらい、なかには納得のいかない結果となった部活動もあったことだと思います。しかし、この夏、3年生の汗は輝いていました。西中のみんなには人を感動させることのできる力を持っています。この夏の経験が必ずみんなの糧となることでしょう。

引き続き、西中のみんな、頑張れ！そして感動をありがとう！

(高橋敦志)